

# ライダーズ・イン・ザ・スカイ 第89号

新潟県中央工業高校（旧三条工高）山岳部OB会発行 2018. 2. 1

## 2017 OB会総会の報告

10月28～29日にOB会総会が盛大に開催されました。総会には33名のOBと顧問に13名の部員と、総勢46名

が出席しました。

部歌のライダーズ・イン・ザ・スカイを、金子達先生録音の音源にあわせて合唱して開会。

会計報告、役員改選ともに承認を得て、部から現役報告を受けました。

会員交流会は、斎藤会長の退任のあいさつを受けてOB会から感謝状と記念品、花束を贈呈しました。

感謝状は新会長の広瀬守彦（H07）さんから。記念品（OB会名入りスワダの爪切り）は新事務局長の川村浩貴（H19）さんから。花束は斎藤会長にすすめられて三条工業に入学し山岳部に入部した経緯を持つ川村芳夫（S49）さんから贈呈しました。

乾杯をソフトドリンクのペットボトルによって西沢政幸（S52）さんの発声で行い、参加者全員の自己紹介に移りました。

遠方からの参加者では、東京から竹石武（S46）さん、西沢政幸（S52）さん。金沢から近藤貴史（H26）さん。近くて遠い佐渡から菊池哲明（元顧問）さん。

斎藤会長の退任へのメッセージが熊谷善和（S49）さんから寄せられました。

交流会後には部員たちにボードクライミングのミニ講習会をインストラクターでもある新会長の広瀬守彦さんを講師に行ないました。



ライダーズ・イン・ザ・スカイを合唱



初めてのアルコール抜きOB会でしたが、それなりに充実したものになりました。

## 雨の弥彦山登山

翌日、雨の弥彦山登山を行ない、紅葉のすすんだ静かな弥彦山を楽しみました。登山口から登る組、ロープウェイ利用、車でスカイライン利用と、それぞれ山頂に集合して大平園地にはOB・顧問11名と部員12名の23名が集いました。（解散後に和田正元顧問が到着、残念！）

## 退任のあいさつ

S41年卒 斎藤 勲（1回生）

2017年10月28日、OB会総会において広瀬守彦新会長に引き継ぎました。OB会員の皆様におかれましては長きにわたりご協力を賜り、まことにありがとうございました。

新執行体制となる今後もOB会、山岳部への変らぬご協力、ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

会長在任51年といっても、発足時以外は吉田先生が敷いたレールの上を皆様に支えられてたどって来ただけです。長きをもって尊しとはなりません、OB会が媒介となった私の山の思い出の宝石箱にはかけがえのない沢山の思い出が入っています。

1970年 三村章司、長谷川晴一と幽ノ沢V状岩壁(右ルート)の登攀

1971年 高橋先生、三村章司、長谷川一良と一ノ倉沢南稜の登攀

1981年 長谷川晴一、渡辺五郎、松井弘正とネパールのゴラパニへのトレッキング

2008年 ダンプスピーク(6035m)、2009年チュルーファークイーン(6038m)の登頂

5回のネパール行の為に毎秋に続けた剣岳早月尾根の日帰り山行、

2012年 新潟インターハイにOB14名で支援隊員として参加（現役チームは優勝した）

2016年 渡辺五郎と共に高橋先生の追悼登山。別山にケルンを積んだ。

どれも素晴らしく、心震える山行でありました。

現在 70 歳の私は体力も体のバランスも低下してきています。今後、いつまで山に登ることが出来るでしょう。神様にもわからないことと思いますが、心震える山の思い出を杖にして余生に向かって歩いて行くことは出来るはずです。

OB 会員も 180 名を超え年齢差は 50 歳以上となりました。人生の山を登ってゆくことも大変なことですが、若い会員の方々には歳月が過ぎてもいつまでも心に残る山行をして頂きたい。

山はいつまでもそこに立っているけれども、山へ登るチャンスは掴まなければ逃げて行きます。より高い標高の山を目指し、五感を総動員して輝く宝石のような思い出を一杯作ってください。きっとこれからの長い人生の糧となることと思います。OB 会総会でそんな楽しい山の話が聞けることを期待しています。

## 会長就任あいさつ

H7 年卒 広瀬 守彦 (13 回生)

OB 会員の皆様には、日頃より OB 会活動にご理解とご協力を頂き心より御礼を申し上げます。

昨年 10 月の OB 会総会にて第 2 代会長を拝命いたしました平成 7 年卒の廣瀬守彦です。その重責を自覚し、身の引きしまる思いです。皆様のお力をお借りしながら OB 会発展のために頑張りたいと思います。

半世紀を越えて OB 会が継続できたのも皆様のご協力の賜物と思っております。また、その中心となって会を支えて頂いた斉藤会長、吉田先生のご尽力の賜物と思えます。改めてありがとうございます。これからも引き続いてよろしく願いいたします。

今後とも、より多くの OB・現役部員の皆様がお互いにつながり、一つの大切な居場所として県中央工業高校山岳部 OB 会があることを願っております。どうぞよろしく願いいたします。

## 安全登山普及指導者中央研修会報告

山岳部顧問 久住 公彦

11 月 3 日から 5 日の 3 日間に参加してきた富山県立山にある国立登山研修所の安全登山普及指導者中央研修会についてご報告させていただきます。

参加した高校教職員研修コースでは、読図とプランニングを中心としながら、高校生を登山に引率する際に必要な知識・技術・考え方について研修を行いました。

講義では「安全登山の仕組みとプランニング」「読図」「概念図の書き方」「高校山岳部での安全対策」の 4 つの内容について学習しました。中でも、この山行の目的は何か、山・ルートを選定はどうか、チームの実力に見合っているか、緊急時の対応はどうか、といった登山計画を立てる際に考えるべきことについては、致命的な問題を起ささないために何を考えて、どのような準備をしなければいけないのか、これまで気づきにくかった細かいところまで気づくことができました。

登山行動は 8 人班で、2 日目と 3 日目に研修所の近くにある大辻山周辺で行われました。(奥大日岳の西 10km ほどに位置する、標高 1,361m の山です)

2 日目の登山では事前に班別協議でルートのチェックポイントを話し合い、徹底的に正置と読図をしながら登りました。登山道を登り、沢を下るルートでしたが、沢に入ったところで天候が崩れ、バケツをひっくり返したような大雨に見舞われました。沢はみるみる増水し、安全に足を置けるかどうかも分かりにくい状態で、ロープとスリングを各所にかけて下ることとなりました。思いがけず、増水した沢の危険を知る良い経験となりました。また、途中現在位置を読み違えてしまい、現在位置を知るためには地図だけに頼らず、あらゆる情報を引き出すことの大切さを知りました。登り 4 時間半、下り 3 時間半の行程でした。

3 日目はあえて登山ルートから外れて、藪漕ぎをしながら目的地を目指すという研修でした。事前に地図の等高線からは読み取れない傾斜や隠れピーク、周囲の景色などを予想して臨みましたが、想定よりも分かりにくく、読図に苦労しました。班員と相談しながら、予定通りのルートを辿って目的地に着くことができましたが、経験不足を実感した研修でした。移動距離 700m 高低差 200m の下りで 2 時間の行程でした。

講義と登山のほかにも班別協議・行動記録・掃除など、休憩時間のほとんどないタイトなスケジュールでしたが、その分充実した 3 日間となりました。早速研修した内容を生徒に伝えているところです。

今回の研修のためにご支援いただきました県中央工業高校山岳部 OB 会の皆さまに、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。これからも微力ながら山岳部のために尽力してまいりますので、どうぞ応援方よろしく願いいたします。

## 祝 齋藤前会長の紀行文が「山と溪谷」の最優秀賞に！

山岳雑誌の山と溪谷4月号に掲載された齋藤勲さん寄稿の「先生のケルン」が、読者紀行の年間掲載24作品中の最優秀賞に選定されました。

作品は、ライダーズNo.88で紹介したのですが、高橋小一郎先生の訃報とその時に北アを登山中だったOBの心中、後日、そのOBと追悼登山を行なって先生の好きだった剣岳が展望できるところにケルンを積んだ紀行文です。なお優秀作品の選考理由と発表は「山と溪谷1月号」の145ページに載っています（コピーを同封しました）。作品はOB会のホームページに掲載しています。

## 新潟県央工業高校 5年ぶり2回目の

### 県高体連スポーツ年間最優秀校に決定！

新潟県スポーツ年間最優秀校は、県高体連が当該年度で競技成績が最も優秀な学校として表彰するもので、11月24日の平成29年度新潟県高等学校体育連盟全体会議で決定しました。

本校の受賞は、平成24年度いらい5年ぶり2回目です。

今年、県総体ではウエイトリフティング、レスリング、弓道の3種目が団体優勝。北信越大会に山岳部、ウエイトリフティング、レスリング、弓道、卓球、水泳の6種目が出場し、さらに全国総体（インターハイ）にウエイトリフティング、レスリング、弓道、水泳の4種目が出場しました。受賞はそうした部活動の活躍の結果です。

公立高校が最優秀校となったのは過去20年間で本校だけです。

昨年度から学級減で生徒数が減少する中で、並み居る私立高校を抑えての受賞は生徒諸君と指導にあたられている監督・顧問の先生方の努力の賜です。

同窓会は、グラウンドに横断幕を張ってその栄誉を称えています。

高体連からの発表と表彰式は2月に行われる予定です。

## 新OBの紹介 —6名が入会します—

長谷川紘平

吉武 生成

更級 佳介

高井 正明

津原 和樹

永井 夕雅

## OB会ホームページを随時更新しています

「会員のひろば」にアクセスするためのID、パスワードは下記のとおりです。部外秘でお願いします。 ID : パスワード :

掲示板には部の山行報告やOBの登山報告などが投稿されています。皆さんも遠慮なく投稿してください。また、会員名簿にもアクセスできます。

## ライダーズ・イン・ザ・スカイ eメール版も随時に

随時、メール通信を配信しています。配信登録をお願いします。

### 【メールアドレス登録ページ】

<http://mtob.sakura.ne.jp/cgi-bin/mag/regist.cgi>

<http://mtob.sakura.ne.jp/ris/index.html#touroku>

携帯電話の設定を確認して「webmaster@mtob.sakura.ne.jp」からの受信を許可してください。



## 連絡

- 1 別紙にOB会アルバムを作りました。写真を希望する方はご連絡ください。プリント、データどちらでも対応します。ホームページよりメールでどうぞ。
- 2 同封文書 出欠コメント 出席者名簿 OB会アルバム2018
- 3 ホームページにメールアドレスの登録フォームを作りました。

今後、アドレス登録をしてある会員にはハガキを省略することを考えています。メール通信も発信していますからぜひ登録してください。

発行：広瀬守彦 H7年卒 三条市下須頃 323 (株)モチヅキ内  
作成：吉田光二 S46年卒 090-4943-5927

# 新潟県央工業高校(旧三条工高)山岳部OB会アルバム 2017年10月

10月28日 校地内の合宿所で総会を開催 (敬称略)



会長あいさつ 斎藤勲 S41



新会長就任あいさつ  
広瀬守彦 H07

←ライダーズ・イン・ザ・スカイ合唱



議事



現役報告



斎藤会長に感謝状贈呈



川村芳夫さんから花束贈呈



ソフトドリンクで乾杯



全員が自己紹介



会計報告 吉田光二 S46



斎藤会長退任のあいさつ



長谷川一良 S45 竹石武 S46



川村芳夫 S49



西沢政幸 S52



阿部孝幸 S54



鈴木孝一 S60



徳橋弘倫 H02



近藤秀峰 H04



小柳将人 H11



原卓史 H12



波塚哲也 H18



川村浩貴 H19  
新事務局長



川村健太 H19



大山和俊 H19



高橋晃浩 H25



波塚崇宏 H25



福原拳太 H25



土田将 H26



高井裕也 H26



近藤貴史 H26



平瀬拓海 H27



星井功 H27



山谷侑大 H27



星野快斗 H29



斎藤圭太 H17  
写真撮影担当  
のため本人の  
写真がなく頂  
上の写真です



51年間会長を務めていただいた斎藤会長をOBと現役が囲んで



### 総会終了後ボルダリングボードで講習会

合宿所となりの総合トレーニング場にOB会が寄付をしたボードを使って広瀬新会長を講師にミニ講習会を実施した

### 10月29日 現役部員と弥彦山登山

雨のため山頂の大平園地の東屋で集合写真

